



# 森林官からの手紙



## 「2回目の森林官業務」

津軽森林管理署 芦沼森林事務所 森林官 佐藤 満

私の勤務している芦沼(あしやち)森林事務所は、青森県西部に位置する鱈ヶ沢町にあり、鱈ヶ沢森林事務所との合同事務所になっています。中村川の中流域と岩木山の一部を管内に持ち約4,300haの国有林を管轄しています。森林の現況は、ブナ・ナラ等の天然林が4割、スギ・カラマツ等の人工林が6割となっています。

さて、タイトルにもあるとおり約5年ぶりに森林官業務に携わることになりました。いろいろ忘れていたことから初めての森林官の時とほとんど変わらない仕事ぶり、合同事務所の地域統括森林官や4名の現場作業員の方々に何かと面倒をかけているにもかかわらず、指導や助言をいただき頭が上がりません。

前回の森林官の業務内容と比べて大きく違ったこととして、管内に薪炭共用林が多く地元の新炭共用林野組合との交流が欠かせないということです。前任地の森林事務所は管内が集落もない山奥にあったため、このような地元との交流というものが全くないという状況でした。



西海小森林教室 北限の天スギ

国有林で行っています。スギ人工林の除伐体験や北限の天スギの観察、広葉樹林の散策を行い、林業への理解を深めたり森林の魅力に気づいてもらう...との主旨ですが、当の児童たちが終始楽しそうにしていたので、それだけでもやった



H29西海小育樹体験

そのため当初は戸惑いましたが、地域の人との交流も森林官の重要な仕事と考え、薪炭共用林の伐採予定箇所の山見に同行したり、薪炭共用林野組合の総会に出席するなどして、地元地域とのつながりを強くするよう努めました。

また、9月に、津軽白神森林生態系保全センターと津軽森林管理署が共同で、地元の舞戸小学校・西海小学校の児童を対象とした森林教室を当所管内の矢倉山

甲斐があったと思えました。地域との交流を深めるためにもこのようなイベントがあれば積極的に参加・協力していきたいと考えています。

鱈ヶ沢町を含む青森県西北地域では、平成27年度から被害が拡大している深浦町広戸地区周辺の松くい虫被害とニホンジカの目撃情報の増加が問題になっていましたが、これらに加えて昨年度には隣の深浦町において青森県では2例目、国有林では初めてとなるナラ枯れが確認されました。忍び寄るこれら3つの脅威による被害を拡大させないためにも地元の方々との交流を通じて地域との関わりや地元自治体との連携を強化し、また、合同事務所の皆さんはもとより、署内の方々からも指導と協力をいただきながら、国有林野の保全に微力ではありますが、が尽力していきたいと考えています。



夕方の岩木山